

九州MaaS



住民や観光客等の移動円滑化や異分野との連携を通じた
移動需要の創出に取り組み「公共交通の利用促進」
「九州観光の振興」「多極交流の実現」を達成する

九州MaaS実行組織準備会事務局

九州各地に広がるMaaSの取り組み (“my route”の展開状況)

● 九州各県で官民が連携したMaaSの取り組みが広がる。

■ **福岡県（糸島）** 2021年2月～
Seed HD（福岡トヨタ・昭和自動車）

■ **福岡県**
2018年11月 実証実験開始
2019年11月 本格実施開始
西鉄、JR九州、第一交通産業

■ **佐賀県** 2022年1月～
西鉄・JR九州・Seed HD・祐徳自動車他

■ **大分県**
2022年2月～ 由布院でサービススタート
亀の井バス、JR九州、西鉄、第一交通産業
2023年1月12日～ 大分空港MaaS実証実験
大分交通、大分バス

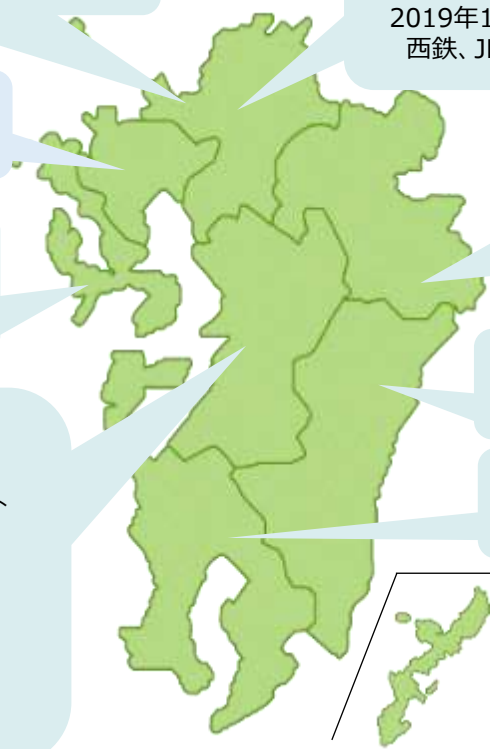
■ **長崎県** 2022年8月～
長崎自動車、JR九州
長崎県交通局、西肥自動車、長崎電気軌道、
松浦鉄道、ラッキー自動車、西鉄他

■ **宮崎県** 2020年11月～
宮崎交通、JR九州、西鉄

■ **熊本県** 2023年1月28日
2020年5月～ 水俣市
水俣MaaSプロジェクト実行委員会によりスタート
＜事務局：UTモビリティサービス（株）＞
2023年1月28日～
県内全域で交通事業者が連携開始
九州産交バス、JR九州、熊本市交通局、
UTモビリティサービス、Takuroo
肥薩おれんじ鉄道、熊本電鉄、
熊本都市バス、西鉄他

■ **鹿児島県** 2023年3月～
システム上サービス提供準備完了

■ **沖縄県** 2022年2月～
第一交通産業
（琉球バス交通、那覇バス、第一マリンサービス）
沖縄バス、東洋バス



九州が一体となった持続可能な取り組みに向けて

「九州各県の取り組み」から「九州が一体となった持続可能な取り組み」にすることが必要

2021年秋、官民が一体となった様々な取り組みを推進する九経連に相談。九経連・JR九州・西鉄で検討を開始。

第41回九州地域戦略会議(2022.6.1)で、九州広域でのMaaS構築に向けた「九州MaaSプロジェクト研究会」の立ち上げを九経連倉富会長から提案。官民が一体となり、「九州MaaSグランドデザイン」の策定に着手。

「九州MaaSプロジェクト研究会」

■座長 九州経済連合会:中川事務局長

■副座長 宮崎県 :佐野 総合政策部 総合交通課長 ※九州創生アクションプランにおけるMaaS幹事県
九州産交バス :宮田 営業本部長 ※MaaS導入に積極的+共同経営にも取り組んでいる

■委員(31団体・48者)

	山口(下関)	福岡	佐賀	長崎	大分	熊本	宮崎	鹿児島	沖縄
県	交通政策担当部局 および 観光政策担当部局								
政令市	福岡市・北九州市・熊本市の交通政策担当部局 および 観光政策担当部局								
鉄道		九州旅客鉄道 西日本鉄道		長崎電気軌道		熊本電気鉄道			
バス	サンデン交通	西日本鉄道 JR九州バス	昭和自動車 祐徳自動車	長崎自動車 西肥自動車	大分交通 大分バス	九州産交バス 熊本電気鉄道	宮崎交通	いわさきコ 南国交通	(第一交通 産業)
タクシー		第一交通産業				TaKuRoo			
団体	九州経済連合会、九州観光機構								

■オブザーバー(9者)

【行政】九州運輸局、九州経済産業局、九州地方整備局、九州地方環境事務所

【業界】九州鉄道協会、九州バス協会、九州乗用自動車協会、福岡県タクシー協会、日本旅行業協会、

■アドバイザー (株)MaaS Tech Japan代表(JCoMaaS 理事)日高 洋祐氏

■事務局 九州経済連合会、九州観光機構、九州旅客鉄道、西日本鉄道

これまでの動き

2022年度		2023年度		2024年度
上期	下期	上期	下期	上期
<p>●九州MaaS構築提案(6月) @ #41九州地域戦略会議</p>		<p>●九州MaaS グランドデザイン承認(5月) @ #43九州地域戦略会議</p>		
<p>九州MaaSプロジェクト研究会 (8月~2023年5月・全7回)</p>		<p>九州MaaS 実行組織準備会 (7月~10月・全5回)</p>		<p>●九州MaaSの事業と運営の 具体的方向性決定(10月) @ #44九州地域戦略会議</p>

九州MaaSの
目指す姿・社会実装の
基本構想 =
グランドデザインの
策定作業を進める。

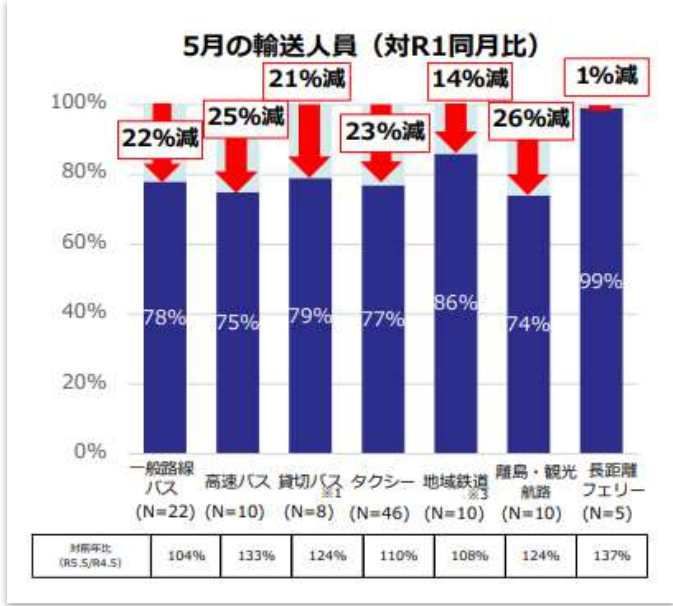
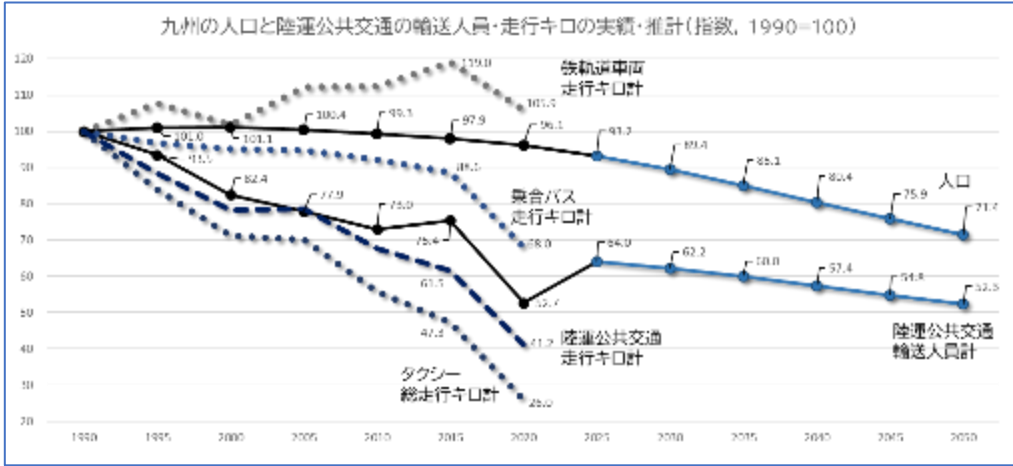


グランドデザインに沿って
具体化作業を進め、

- ① 当面の事業の方向性
- ② サービスプラットフォームベンダー
- ③ 官民費用負担の基本的枠組み
- ④ 運営主体の設立時期

が決定された。

「九州MaaSグランドデザイン」の基本思想①



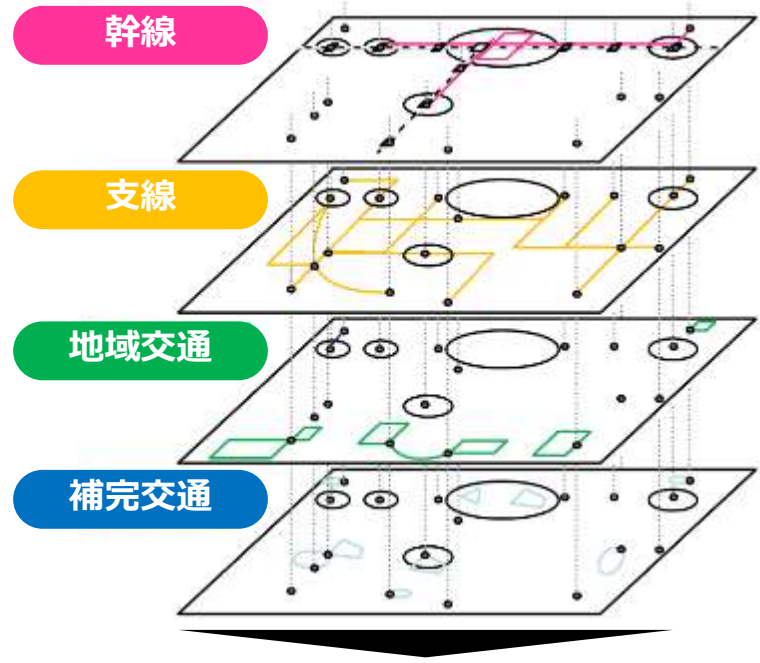
九州運輸局資料より (令和5年5月実績)



「縮小を続ける交通ネットワーク」+「コロナ禍」+「労働力不足・2024年問題」
 これまでと同じ形では公共交通は維持できない。官民で取り組むべき**極めて大きな課題**。

「九州MaaSグランドデザイン」の基本思想②

- 多モード連携・階層型の交通ネットワーク(=「**フィジカルな連携**」)で地域のモビリティの維持・向上を図る。
- 交通ネットワークを階層的に捉え、各プレイヤーが自らの得意分野で社会的役割を果たす。
→ 交通事業者だけの取り組みでは実現不可能。官民共創で**交通政策と事業が連携**した取り組みが不可欠。



デジタルによって生まれた**新しい地域交通・パーソナルモビリティ**も
今後の交通ネットワークを支えるモードの一つ

実現に必要な要素が
「**デジタルプラットフォーム**」

協議会を核・ハブにして「**フィジカル連携**」「**デジタル活用**」を推進

九州が一体となった取り組みは、「利用者の**更なる利便性**」「スケール化による**ナレッジ集約・コスト効率化**」「**持続可能性**」を実現。デジタルプラットフォームを活用することで「**観光・商業**」などとの**連携**も実現。

「九州MaaSグランドデザイン」の基本思想③

■九州観光の課題から見た九州MaaS

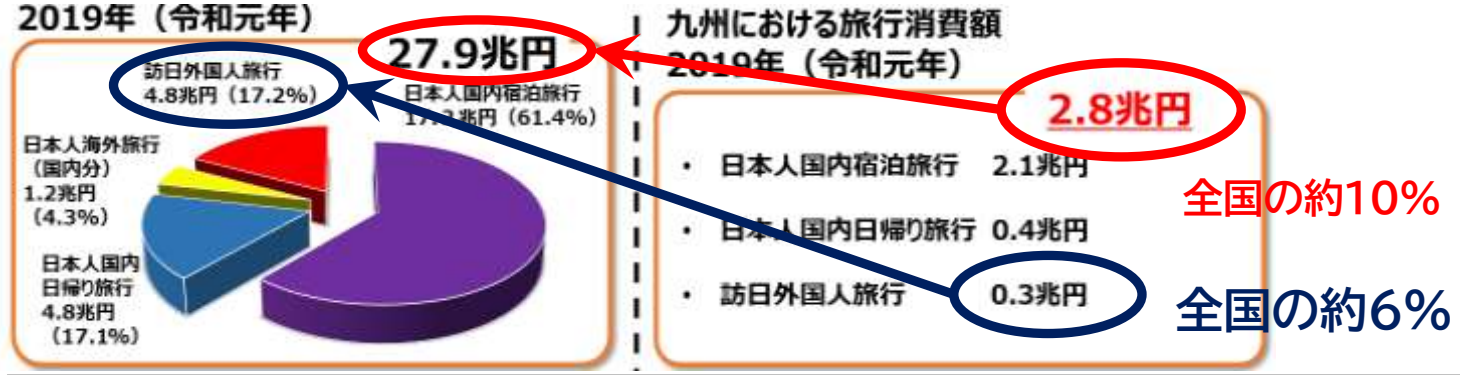
2022.9.16 第2回九州MaaSプロジェクト研究会「九州MaaSシンポジウム2022」
観光庁・和田長官 特別講演資料をもとに作成

① 九州の観光地特性 『観光資源が広域分散している』



- ・中山間部を始め観光地への2次アクセスの整備が必要
- ・地域交通ネットワークの維持は観光の課題にも直結

② 国内における旅行消費額 『九州はインバウンド消費額比率が相対的に低い』



- ・長期滞在・回遊促進に資する九州広域で一体となったサービスの構築、情報提供が必要
- ・インバウンド対応ツールとしてデジタルの活用も必要

九州MaaSによる、官民が共創した「フィジカル連携」「デジタル活用」の推進は九州観光の競争力向上にも大きな効果

・データを活用した個人の嗜好に応じたレコメンドなどデジタルによる観光マーケティングにも期待
・関西や東北など各地でMaaSを活用した広域の取り組みも始まる中、九州の地域間競争力向上にも寄与

「九州MaaSグランドデザイン」の基本思想④

地域公共交通の「リ・デザイン」とは

- ローカル鉄道・路線バスなどの**地域公共交通**は、地域の社会経済活動に不可欠な基盤。人口減少や少子化、マイカー利用の普及やライフスタイルの変化等による**長期的な需要減**により、**引き続き、多くの事業者が厳しい状況**。加えて、新型コロナの影響により、**一気に10年以上時間が進んだとの見方もあるほど深刻な状況**。
- こうした需要の減少は、交通事業者の経営努力のみでは避けられないものであるため、自動運転やMaaSなどデジタル技術を実装する**「交通DX」**、車両電動化や再エネ地産地消など**「交通GX」**、①**官民共創**、②**交通事業者間共創**、③**他分野共創の「3つの共創」**、すなわち、地域の関係者の**連携と協働**を通じて、**利便性・持続可能性・生産性を高め、地域公共交通の「リ・デザイン」(再構築)**を進める。
- これにより、『**デジタル田園都市国家構想**』及びこれを具体化する「**地域生活圏の構築**」の実現と、社会課題の解決を**経済成長のエンジンとする『新しい資本主義』**の実現を目指す。

交通DX

自動運転

地方公共団体が地域づくりの一環として行うバスサービスについて、実証事業を支援



▲天城県境町の自動運転バスの運行

MaaS

交通事業者等の連携高度化を後押しするデータ連携基盤の具体化・構築・普及を推進



交通GX

交通のコスト削減・地域のCN化

車両電動化と効率的な運行管理・エネルギーマネジメント等の導入を一体的に推進



3つの共創

官民の共創

一定のエリアにおいて、地域でサービス水準を決定し、事業者が複数路線を一括して長期間運行

交通手段が重複 ▶ ネットワークの統合 ▶ エリア一括値立運行



交通事業者間の共創

複数の交通事業者が共同経営を行うことにより、垣根を越えたサービスを展開



他分野を含めた共創

地域交通と、様々な他分野との垣根を越えた事業連携を実現



九州MaaSは、
「地域公共交通のリ・デザイン」を**全国に先駆け、九州一体・広域で取り組む**

モビリティサービス・MaaSの実現に必要なもの

ボーダレスなモビリティサービス = 交通事業者がつながること

1社のサービス・狭いエリアでは成立しない

地域のコンテンツとの融合 = 業種を超えた様々なプレイヤーとの連携

交通事業者だけの取り組みではない

観光や商業など地域のコンテンツとの連携が必要

リソースの確保 = 持続可能なスキームづくり

MaaSは「アプリを導入して終わり」ではない

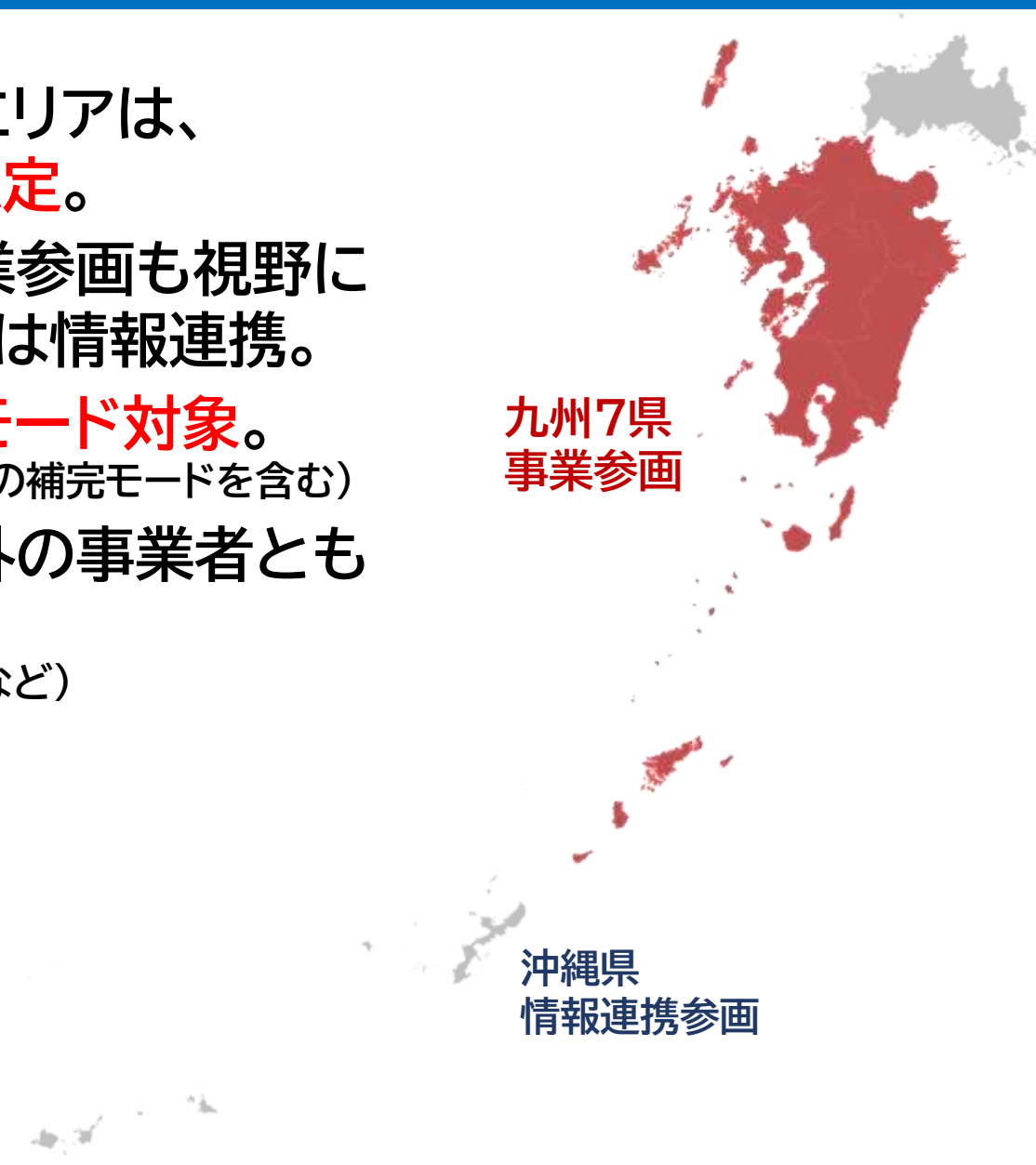
地域の交通政策との連携も重要

開発・維持し続けるための「ヒト・モノ・カネ」も必要

**交通事業者1社の取り組みでは実現不可能
交通事業者・地域が一体となった「共創」が重要**

九州MaaS：事業エリア、対象モビリティ等

- ▼当面の事業エリアは、**九州7県を想定。**
- ▼将来的な事業参画も視野に
山口、沖縄とは情報連携。
- ▼**陸海空の全モード対象。**
(シェアサービス等の補完モードを含む)
- ▼交通分野以外の事業者とも
事業連携。
(商業、観光、保険など)

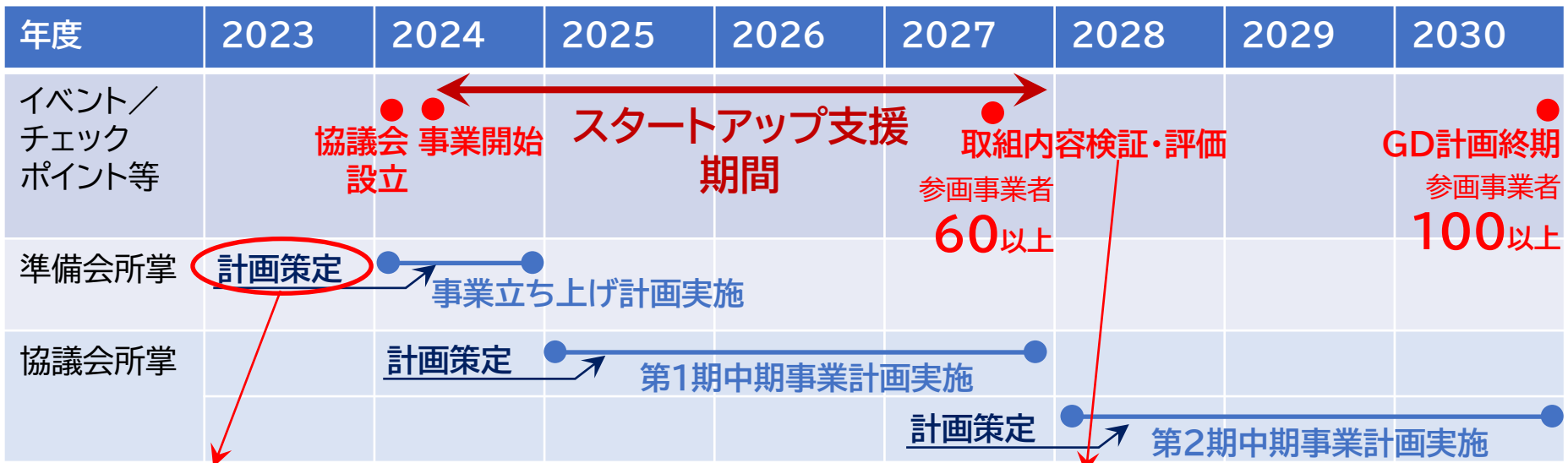


山口県
情報連携参画

九州7県
事業参画

沖縄県
情報連携参画

九州MaaS : 中長期スケジュール



計画の柱

- (1)公共交通利用促進
 - ①サービスプラットフォーム選定
 - ②サービスコンテンツ検討
 - ③参画事業者拡大
- (2)情報発信(プロモーション)
- (3)移動環境整備(フィジカル連携)
- (4)地域消費の拡大
- (5)他分野との連携等
 - ①データ利活用
 - ②人材育成等
- (6)協議会運営

2027検証の要点

- ①自治体(地域)と事業者の受益の程度
 - ②交通事業者等の経営状況
(コロナ禍からの需要回復状況)
 - ③その他、事業の進捗状況
(参画事業者の拡充状況等)
- の3点について十分検証した上で、負担割合の適否を判断する。

九州MaaS：九州共通サービスプラットフォーム「my route」



- トヨタファイナンシャルサービス㈱が開発・提供するスマホアプリ。
- 2018年11月に西鉄がローンチカスタマーとなり、福岡にてサービス開始。
- 九州各地、沖縄、横浜、富山、愛知でサービス展開。
- アプリダウンロード数 デジタルチケット発売数ともに日本でNo.1の実績
- 各エリアでは資産を保有せず、利用料をトヨタファイナンシャルサービスに支払う形で活用
- プロポーザルによる選定により、2024年度より九州MaaSのサービスPFとして採用予定。



おでかけ情報



myステーション

毎日利用する**交通の情報**を一目で確認！

myチケット

すぐに使いたい**チケット**・**クーポン**に簡単アクセス！

おでかけメモ

今度行きたい！面白そう！美味しそう！をURL・画像など多様な方法で保存。

おでかけ情報

思わずおでかけしたくなる周辺の**グルメ**や**イベントの情報**を紹介

地図で探す



ルート検索

シングルモーダルおよび、**マルチモーダル**に対応。

交通スポット検索

見知らぬ土地でも安心！近くの交通スポットを探して情報(時刻表・バスロケ・予約導線)を確認。

施設検索

思い付いたとき、すぐに周辺の**グルメ**や**体験施設**を検索。

お得におでかけ



おでかけサービス予約/利用

おでかけ先の**交通**や**施設****チケット**を予約・購入可能。



地域情報・ルート情報の検索、デジタルチケットで交通・観光施設の決済・利用までワンストップで提供

九州MaaS : グランドデザイン

1. 九州MaaSの目指す姿と基礎理念

九州
MaaS
の目的

九州MaaSは、乗換えを前提とした様々な移動手段によって支えられる新たな交通ネットワーク像を前提とし、そのような社会環境においても公共交通が選ばれる環境を創出し、持続可能な地域公共交通の実現や観光分野等も含む移動の円滑化による地域経済の活性化を図る。

九州MaaSの目指す姿と基礎理念

九州MaaSは、九州が一体となって住民や観光客等の移動円滑化や異分野との連携を通じた移動需要の創出に取り組み、「公共交通の利用促進」「多極交流の実現」「九州観光の振興」を達成するとともに、「ナレッジの共有」「人材の育成」「スケール化によるコスト効率の追求」「ステークホルダーとの交渉力強化」を目指す。

基礎理念①

ボーダレス交通の実現

・多様な輸送サービスをつなぎ合わせ、モビリティサービスとして提供する機能を有するMaaSを活用し、交通モード、事業者、行政区域等のあらゆる垣根を越えたモビリティ環境「ボーダレス交通」の実現に貢献すること

基礎理念②

フィジカルなくしてデジタルなし

・デジタル領域での連携に限らず、乗継時間を考慮したダイヤ編成や乗継環境の整備、初訪問者でも分かりやすい移動環境の整備等のフィジカル面での連携にも両輪で取り組むこと

基礎理念③

共創による移動需要創出への挑戦

・公共交通ネットワークの維持を図る観点から、他の分野との共創に九州の官民一体で挑戦し利用の促進を図ること

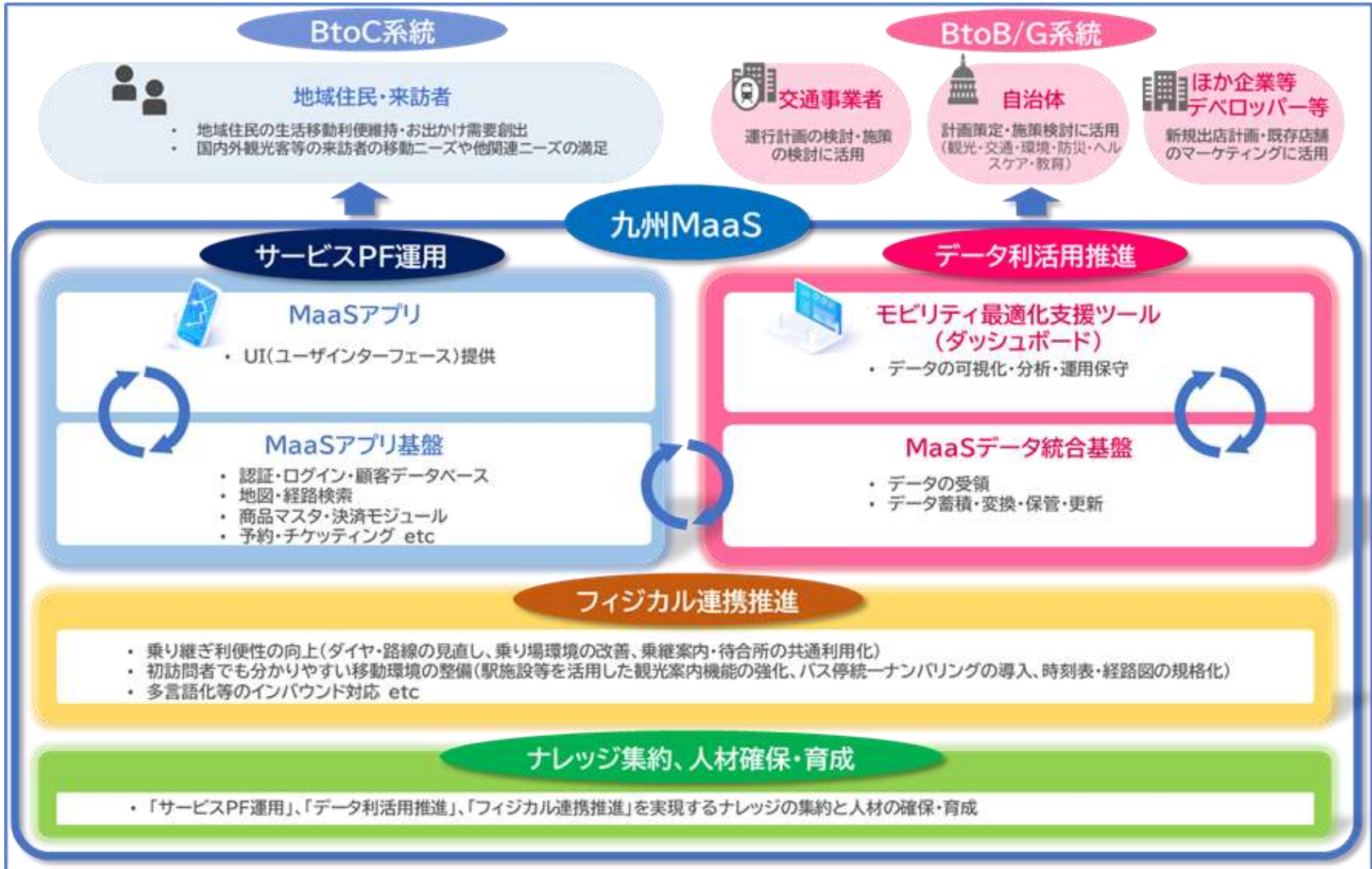
基礎理念④

モビリティデータ利活用の推進

・MaaSにより得られる旅客の移動データをICカードの利用データ等と統合することで生活シーン・観光シーンの両面での移動の実態を掴み、可視化・分析を通して、需給調整や新商品・サービスの検討及びEBPMの推進に活用すること

九州MaaS : グランドデザイン

2. 九州MaaSの全体像と求められる機能・施策



3. 九州MaaSの全体像と求められる機能・施策

(1)公共交通の利用促進

- 事業者や県境の垣根を越え多様なモビリティサービスをボーダレスにつなげた最適な経路検索/予約/決済/精算
- 観光施設や宿泊施設等の検索・予約・決済サービスの提供と経路検索との連動
- 事業者や事業分野の垣根を越えたデジタルチケットの造成・販売・自動精算・利用状況分析
- スマートフォンやICカード等との連携による企画乗車券や定期券のオンライン購入サービスの導入
 - (例) ✓ 九州域内のすべての交通モードで利用できるデジタルチケット(九州周遊パス等)
 - ✓ ショッピングや観光コンテンツ等の移動の目的と連動したデジタルチケット、ポイント等の特典サービス
 - ✓ 欧米豪等の消費単価の高い富裕層やリピーターをターゲットとした長期滞在に繋がるデジタルチケット

(2)情報発信

- 地域住民・国内外観光客へのサービスの周知
- 公共交通機関の遅れ、混雑情報、天気等のリアルタイム情報の発信・経路検索(代替ルート)との連動
- 宿泊施設や観光施設、商業施設、DMO等との連携による利用者の目的や嗜好に応じた情報・サービスの提供
- 多目的トイレ、授乳室、バリアフリー設備の設置、駅員等による補助の有無等に関する情報・サービスの提供
- 位置情報からのポップアップやレコメンドの提供、スケジュールの通知

3. 九州MaaSの全体像と求められる機能・施策(つづき)

(3)移動環境の整備

- 乗り継ぎ利便性の向上(ダイヤ・路線の見直し、乗り場環境の改善、乗継案内・待合所の共通利用可)
- 初訪問者でも**分かりやすい移動環境の整備**(駅施設等を活用した観光案内機能の強化、モビリティハブ化や交通結節点の充実、バス停統一ナンバリングの導入、時刻表・経路図の規格化など)、Wi-Fi・充電環境の充実
- **二次交通が整備されていないエリアにおける移動手段確保**に向けた検討(輸送資源の総動員や新たなモビリティの導入等)
- 各種取組の好事例の横展開による利用者満足度の向上(お客様の声を全関係者で共有)
- 多言語化等のインバウンド対応、手荷物輸送など「手ぶら観光」の推進

(4)地域消費の拡大

- **広域の交流人口活性化に資するサービスの検討**
- 地域間、事業者間の連携による**宿泊日数や消費単価の向上に資するサービスの検討**

(5)他分野等との連携等

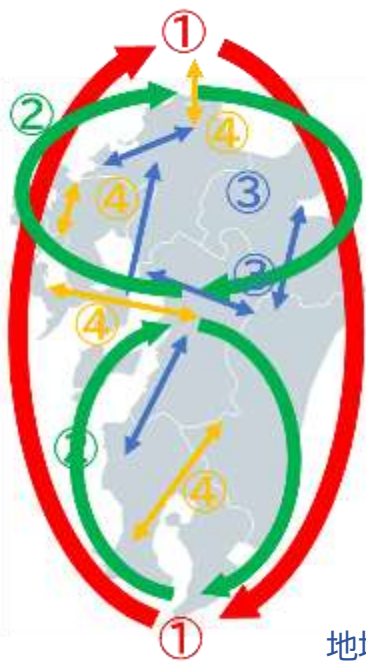
- EBPM等の実現のためのデータプラットフォームの構築及び蓄積された**データ利活用機能**の実装、高機能化、省人化
- データ利活用ノウハウの蓄積によるマーケティング、新規取組の創出
- 緊急時・災害時における公共交通や避難場所等に関する情報を提供する等のMaaSアプリの付加 価値向上
- 貨物輸送やエネルギー/医療/福祉/教育/まちづくり等の他業種や脱炭素化、渋滞緩和、マイナンバーカード等の**他分野との共創**
- 中山間地域等の交通空白地域における交通手段確保に向けたMaaSを活用した柔軟かつ最大限の取組の検討
- 自動運転車両等の活用による運転士不足の解消、運転士業務負荷の軽減など交通事業に関する課題解決の取組
- **人材育成、交通/観光業界ナレッジの保有/活用、ノウハウの継承**

九州MaaS:事業の主な柱 広域周遊・滞在期間増に資するサービス展開の方向性

- ▼参画交通事業者や各県、九州観光機構との連携により、九州内の旅行(インバウンド・国内)の回遊性、利便性の向上に資する、交通事業者や県境・地域をまたがる広域的サービス提供を推進。
- ▼九州統一プラットフォームを通じた販売を行い、エリア観光情報の提供もサービスプラットフォーム上で実施。
- ▼他の事業分野・地域のコンテンツ(観光・商業・飲食・アクティビティ・イベント等)とも連携したサービスの拡大・充実を図る。

九州一体となった
取り組み・統一サー
ビスPFの活用で
実現可能に

交通機関
単体のサービス



地域コンテンツとの
連携深度化

	事例(※イメージ例)	概要
①九州広域	Kyushu Rail Pass	JR全線
	SUNQパス(全域)	路線バス・高速バス全線
	九州周遊パス	インバウンドの回遊・滞在期間増に資する九州域内のバス・JRが利用可能なチケットの新規設定
②エリア広域	北部九州版SUNQパス	路線バス・高速バス
	南部九州版SUNQパス	路線バス・高速バス
	北部九州版Kyushu Rail Pass	JR全線
	南部九州版Kyushu Rail Pass	JR全線
③県境またぎ	熊本～熊本空港～阿蘇～高千穂	バス・鉄道各社
	JR/肥薩おれんじ鉄道 鹿児島・熊本周遊	鉄道各社
	福岡～大牟田・三池港～島原～雲仙	鉄道・バス・船舶各社
	別府～由布院～やまなみハイウェイ～阿蘇～高千穂～宮崎	バス各社
④コンテンツ連携	えびの～霧島～鹿児島～指宿 温泉巡り	交通事業者のチケット +
	長崎～島原半島～天草～熊本 世界遺産巡り	アクティビティ予約・などをセット
	北九州市内～門司港～下関 関門エリア周遊	で商品化
	唐津～伊万里～有田～波佐見～ハウステンボス 窯元巡り	

2024年度
早期に実装

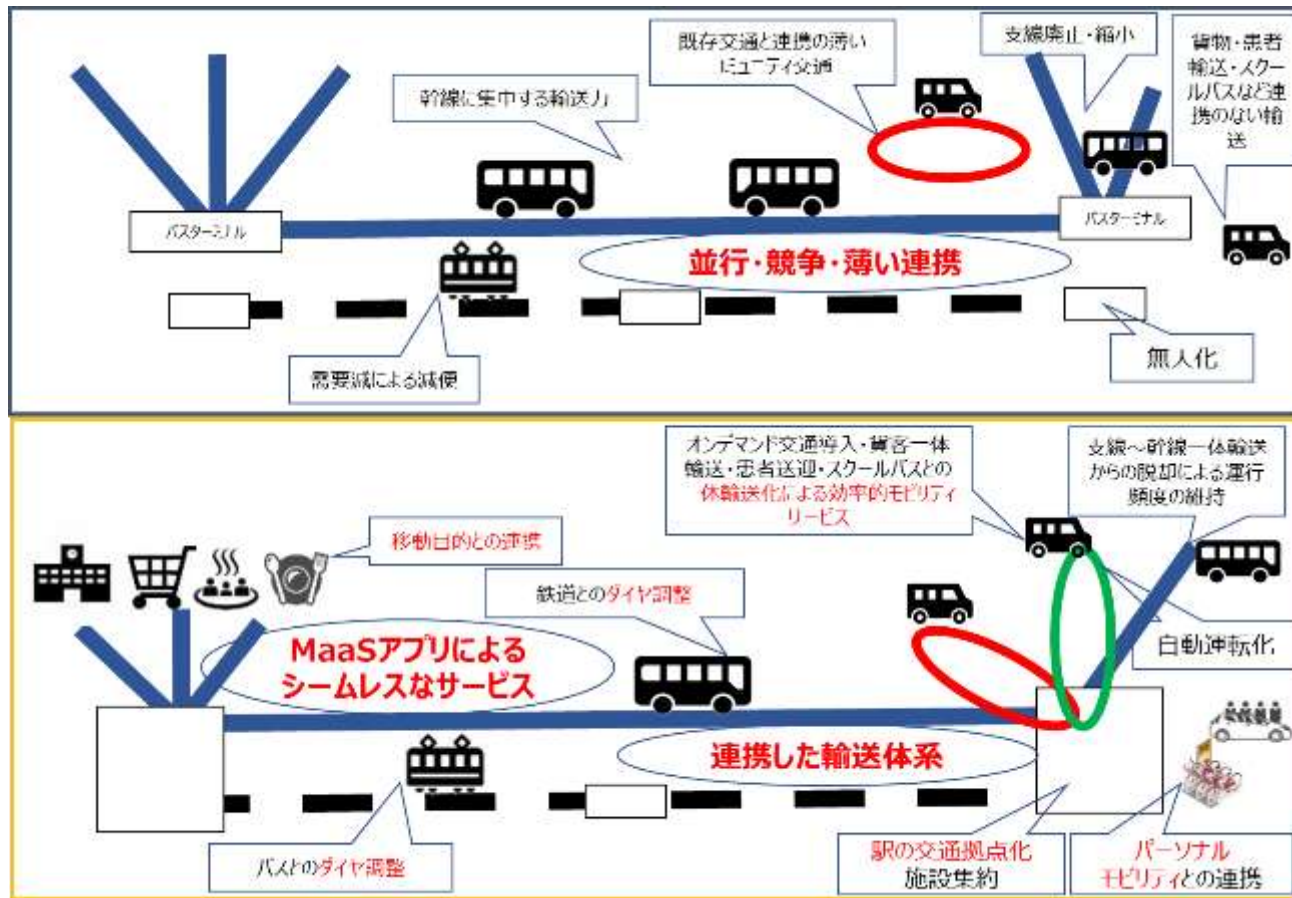
2025年度以降
随時展開

2025～26年頃より
機能開発・観光素材の
整備と合わせて
随時展開

「サービスコンテンツWG」を通じ、サービス内容・展開ステップの検討・拡大・充実を図る。

※上記はあくまでイメージ。各県実行委員会、交通事業者、各県、観光団体、観光施設、サービスプラットフォームベンダー、九州観光機構など関係者が連携して実装を進めることが必要。

九州MaaS:事業の主な柱 フィジカル連携の推進



- ・利用減に伴うネットワーク縮減
- ・労働力の不足
- ・各モードの連携が薄い
- ・競争が成立しない環境下での競争
- ・既存のネットワークから切り離された地域に閉じた代替交通サービス

- ・各モードの特性・資産を活かした新たな交通ネットワークの構築
- ・新しいモビリティの活用
- ・MaaSアプリを活用したボーダレスで利便性の高いサービス
- ・観光・商業など移動目的との連携

持続可能で利便性の高い交通ネットワークの実現

観光の利便性・回遊性の向上

	九州MaaS	自治体	交通事業者
各セクターの役割	<ul style="list-style-type: none"> ・九州が一体となったサービスプラットフォームの調達 ・九州が一体となったプロモーション ・協議会事務局による業務の集約化 ・データ利活用・新技術導入などのナレッジ集約 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の交通ネットワーク維持に向けた交通政策への活用 ・地域のDX推進手段としての活用 	<ul style="list-style-type: none"> ・事業者間連携への活用推進 ・新たな自社サービスへの活用 ・デジタル活用による事業効率化(窓口省力化など)の推進
期待される効果	<ul style="list-style-type: none"> ・大きなコストがかかるサービスプラットフォーム(アプリ)の調達・開発のスケールメリット ・活用・展開の障壁となっている事務作業・ナレッジを集約した推進力の強化 ・九州一体となったプロモーションによる訴求力・競争力の発揮 	<ul style="list-style-type: none"> ・官民共創による持続可能な地域の交通ネットワークの構築 ・官民が一体となった観光客の誘致 ・モビリティデータの政策への活用(EBPM) 	<ul style="list-style-type: none"> ・厳しい経営環境下での地域交通のリデザインの推進 ・持続可能な交通ネットワークの構築 ・九州MaaSへのBPO化での自社でのMaaS活用の推進

九州MaaS:事業の主な柱 地域消費の拡大に向けた取り組み

北九わんぱく (1泊) チケット



北九州でオトクに1泊するなら

北九わんぱく & チケット

北九州エリア西鉄バス36時間フリー乗車券

セット料金

北九わんぱく (1泊) チケット

本日購入分 2023/11/30 まで有効

西鉄バス北九州株式会社

大人 **2,000円** 小児 **900円**

北九州市 同何度でも 設を利用出 ます。 さらに、指 2) や、子 を受けるこ



第3弾 2023 9.1 [fri] → 11.30 [thu]

天神・博多 乗レール 買エールチケット

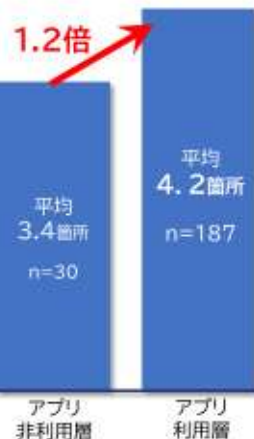
交通チケット + ショッピングチケット

1. 観光分野との連携効果

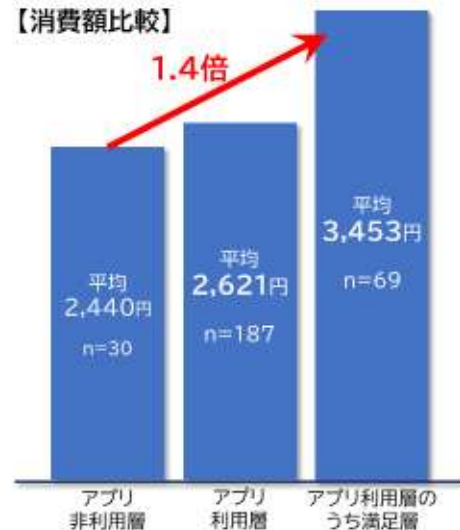
2020年千葉県小湊鐵道沿線エリアの実証実験

- ▼ MaaSアプリ利用者は、非利用者より多くの観光スポットを訪問する
- ▼ MaaSアプリ利用者は、非利用者より多く消費する

【訪問スポット数】



【消費額比較】



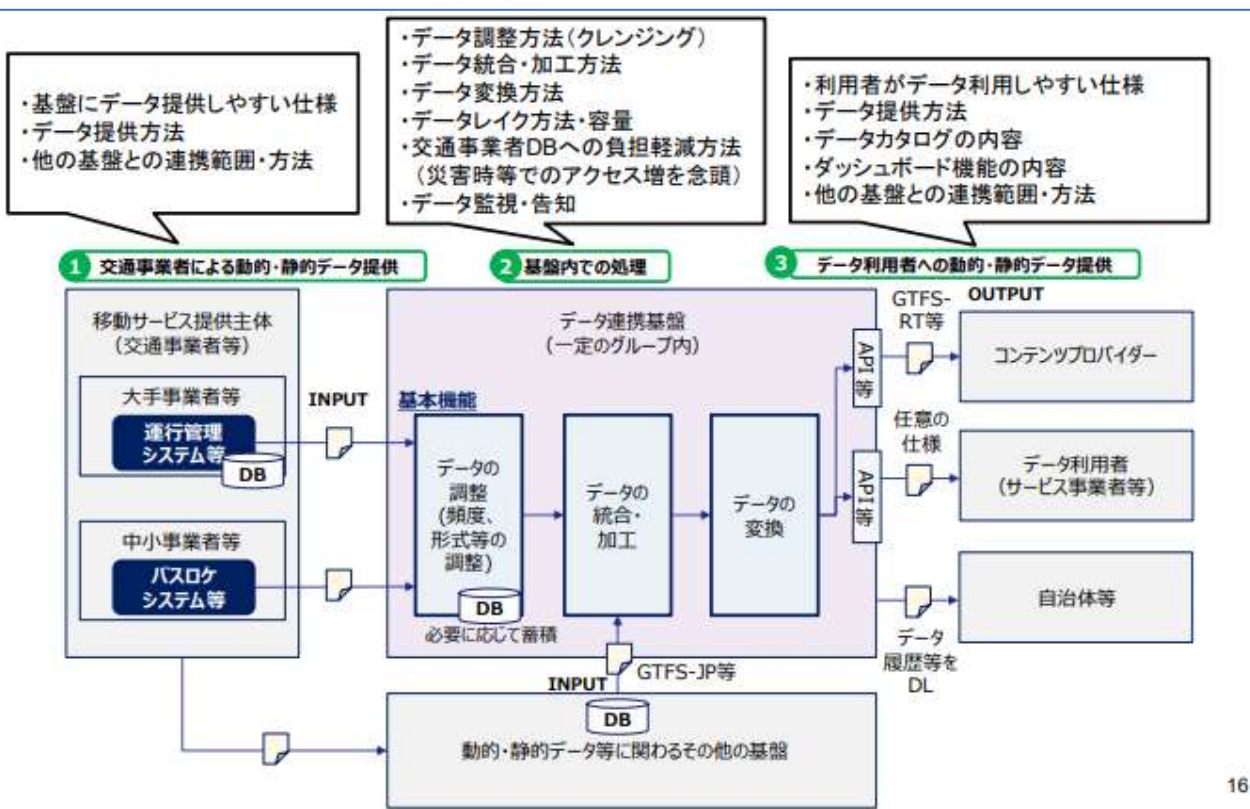
© 2023 Kyushu Economic Federation. All Rights Reserved.

1

九州各地で他分野との共創を推進し、公共交通による移動需要を創出するとともに、地域消費の拡大を実現する。

九州MaaS:事業の主な柱 中小事業者の参画拡大に向けた取り組み

デジタル庁・国土交通省の「モビリティデータ連携」実証事業と連携した取り組みに着手。中小事業者のデジタル化と九州MaaSへの参画推進、サービスプラットフォームを通じた情報提供の充実、他分野との連携を進めるための方向性を整理し、実装を目指す。



- ▼ **中小事業者**がMaaSに参画するにあたって、時刻表・運賃などの静的データの**デジタル化は必要不可欠**。
- ▼一方で、人工・ナレッジなどの制約が**障壁**に。
- ▼**ツールを活用**しつつ、中小事業者が**デジタル化をアウトソース**できる環境整備が必要。
- ▼さらに、データ連携基盤を通じて**外部へのデータ提供・利活用**を図る。

※「九州MaaS」の動きが広域連携の先進事例であるということで、国からの同実証事業への連携の働きかけがあった。

同実証事業との連携を通じ、**中小事業者のデジタル化と九州MaaS参画の推進とデータの利活用**に向けた課題と必要なデジタルツールを検証。

交通事業者間の共創(JR九州・西鉄:北九州市 JR下曾根駅 2020.3~)

- 従来は競争していたエリアで接続連携。バス路線のフィーダー化と系統新設、鉄道とのダイヤ調整を実施。
- 運行情報の相互提供やベンチ増設、サイン整備、駅ロータリーへのバス停移設など乗継環境の向上も実施。

2020年3月14日より
小倉への通勤・通学、お出かけが速くなる！
西鉄バスとJR九州の連携実施

下曾根駅の電車とバスのお乗り継ぎが便利に!!

バス路線を新設・変更して、下曾根駅へのアクセスが、便利になります。

スムーズにお乗り換えいただくためサービスを拡充!

- バスが停車する小倉駅下曾根駅前停留所は、JR九州の駅舎内へ移設。
- 駅舎内にバス乗降場を設置し、乗降サインを設置。
- 駅舎内での乗降を促すために、乗降サインを設置。
- 駅舎内での乗降を促すために、乗降サインを設置。

JR九州と西鉄バスとの連携により、下曾根駅へのアクセスが、より便利になります。

駅改札口正面にバス時刻モニターを設置

83	小倉	11:24	85	小倉	11:40
49	小倉	11:25	72	小倉	11:43
175	小倉	11:26	48	小倉	11:40
70	小倉	11:26	74	小倉	11:43
6	小倉	11:30	83	小倉	11:46

西鉄バス運賃表モニターに駅の発車時刻を表示

時刻表		JR下曾根駅		現在時刻
小倉・門司港 / 下関方面				10:31
行先		発車時刻		
小倉		10:42		
小倉		11:05		
小倉		11:24		
小倉		11:41		
小倉		12:05		



駅ロータリー内 駅入口横に移設されたバス停



■交通事業者間の共創(西鉄・JR九州:北九州市 JR戸畑駅 2022.2~)

- 両社の連携と資産の有効活用により輸送サービスの利便性向上・利用促進を目指す。
- 乗車券販売窓口の隣接化や、バス待機場の拡充など、ハード面での鉄道・バスの結節機能強化を実施。



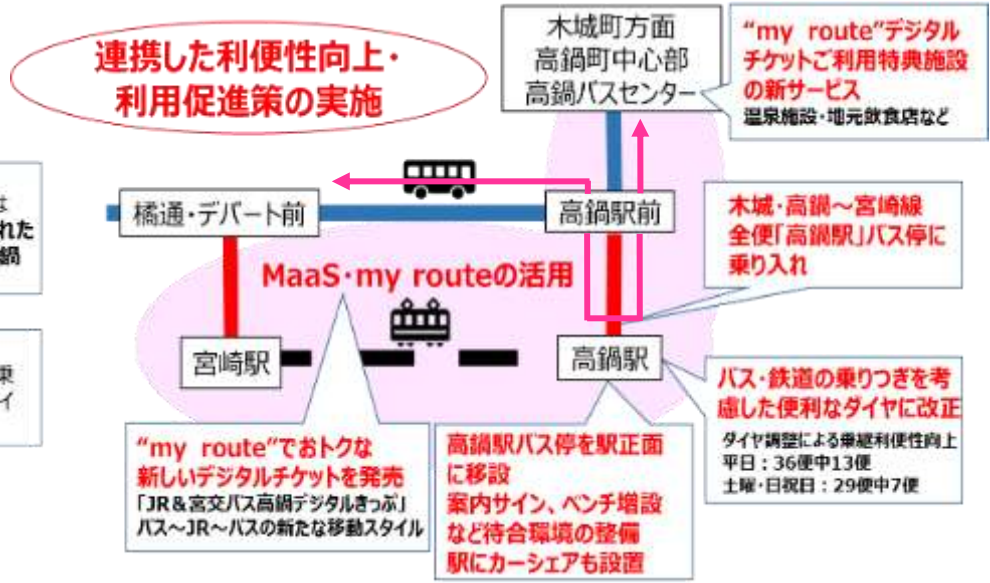
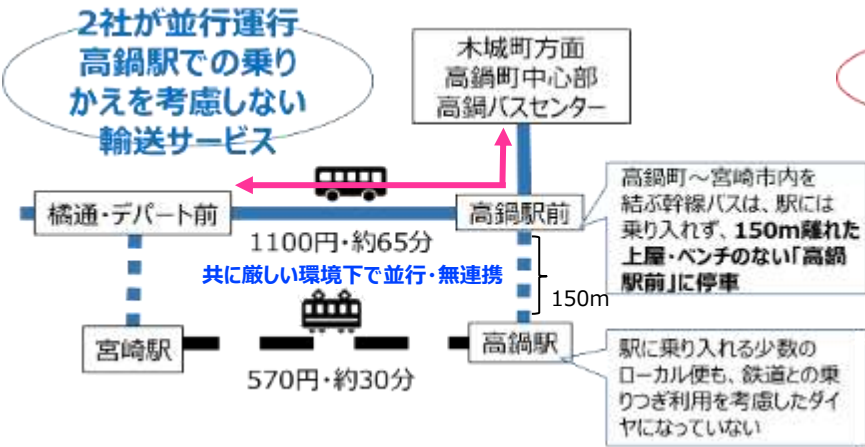
戸畑駅みどりの窓口内に
西鉄バス定期券発売所を設置



- ・北九州市により、戸畑駅ロータリー内のバス待機場拡張
- ・駅舎内に西鉄バス乗務員の待機・休憩スペースを新設

交通事業者の共創による持続可能な交通ネットワークづくり(宮崎県 JR高鍋駅)

- 鉄道とバスが、駅への乗入れなどの連携もなく並行運行していた区間において、**輸送サービスの連携**を開始。
- 駅へのバス乗入れ・ダイヤ調整のほか、バス停の移設やサインの設置などの乗換利便性の向上を実施。
- 同時に、施設特典を含む**デジタルチケットサービス**を開始。



交通事業者間の共創(西鉄・JR九州:日田彦山線・BRT添田駅 2023.8~)

- 添田駅では、列車とBRTを同一平面・対面での乗り換えが可能。
- BRT乗り場には、起点の添田駅周辺エリアを走る西鉄バスも乗り入れ。交通結節機能が更に向上。
- 一部便の運行を西鉄グループ(日田バス)に委託し効率的な運行を実現。



■観光との共創(BRT沿線観光施設特典付きフリーチケット)

- 福岡県・JR九州・沿線自治体が連携し、日田彦山線BRT区間の1日フリーチケットを発売。
- 沿線施設の利用特典もセット。観光によるBRTの利用促進を目指す。

マース
実証実験 はじまり MaaS/
BRTひこぼしライン
1DAY満喫フリーチケットを販売!

開業記念

— 発売・利用開始日 —
2023年8月28日(月)~

東峰村・添田町
を一緒に美しく楽しもう

スマートフォンで発券!
簡単に発券の
オンラインチケット!

大人の料金 860円
小児の料金 430円

地域限定の特典

ひこぼしライン
1DAY満喫
フリーチケット
1Day Free Ticket

地域の魅力が
詰まったお得な特典が
いっぱい!

地域限定の特典

〈添田町〉

- 特典1 手打ち蕎麦しょうはん
大盛り(+300円)分
を無料サービス
- 特典2 道の駅飲遊舎ひこさん
英彦山サイダー
50円引き
- 特典3 鴨どり食堂
ヤマメ定食を
300円引き
または、鶏定食を
300円引き

〈東峰村〉

- 特典4 皇山カフェ「樹田園」
[料:料まで]テイクアウト用
コーヒー杯800円(無料)レ
ンズプレゼント(料:1杯~15
分)200円(無料)レ
ンズプレゼントサービス
- 特典5 片岡酒造
1,500円以上
お買い上げの方は
100円引き
試飲できませ!
- 特典6 アンジュ
・ランチ注文の方は
ドリンク1杯サービス
・飲み物のみの方は
50円引き

〈その他の店舗〉

添田町

- 情熱的中華厨房 味都
- 本場韓国料理 宋家(道の駅敷地内)
- もち工房(道の駅敷地内)
- 中華 味楽(道の駅敷地内)
- フォレストアドベンチャー 添田

東峰村

- 佐々木製菓
- 喫茶 藍加減 其の貳
- おみその学校 カネダイ

■接点のなかった企業の共創による新たな移動サービス(宮崎県)

- 宮崎MaaSは**JR九州・宮崎交通・宮崎トヨタ自動車**が連携して運営。
- “my route”から「トヨタシェア」(宮崎トヨタ自動車運営)の予約・利用が可能。10駅にステーションを新設。(宮崎・南宮崎・南延岡・高鍋・都城・青島・飫肥・日南・油津・南郷)
- 宮崎県内の**シェアサイクル「PiPPA」**も**宮崎トヨタ自動車**が運営。
- 鉄道・バスとトヨタシェア・シェアサイクルPiPPAを組み合わせた新しい移動スタイルを提供。
- 今年のmy routeの高千穂エリアでのサービス開始に合わせ、**高千穂バスセンター横にもカーシェアを設置。**

これまで接点のなかった企業との連携で新たな移動サービスを構築し、MaaSを推進



超小型EV C+pod
青島エリアで実証中



■観光との共創(情報発信・観光施設チケット)

- 観光団体と連携した観光・グルメなどの地域情報を提供。
- 長崎県内では観光施設のデジタルチケットも発売中。



■地域のコンテンツとの共創(スポーツイベント連携)

- 佐賀県ではB1初参戦となる佐賀バルナーズがコラボし、**公共交通利用での応援を推進**するイベントを実施。『佐賀バルナーズB1初参戦!Boost企画パス』をmy routeで発売。
- 宮崎県ではプロ野球キャンプと連動したデジタルスタンプラリーを実施。公共交通利用で道路渋滞緩和も目指す。

『佐賀バルナーズB1初参戦!Boost企画』



宮崎県 2023春キャンプ告知



駅に設置のPRブース

博多・熊本・大分
鹿児島中央・宮崎

宮崎交通・JR九州での共同告知

■観光との共創・交通事業者間の共創（熊本県阿蘇）

- 今夏、阿蘇で熊本県・交通事業者・JTBの連携で、九州産交バス・JR九州・南阿蘇鉄道の周遊パスを発売。
- デジタルチケットを活用し、観光施設の特典も受けられるフリーパス(24時間券)を発売。



乗り物にのる



★この画面を乗務員・駅係員にはっきりと提示してください



特典を受ける



★この画面を店舗スタッフにはっきりと提示してください



③乗り物にのる
or
特典を受ける

特典の内容や対象店舗はmy route内
[熊本エリア特集記事] もしくはチケットHPをご覧ください

■商業施設との共創・交通事業者間の共創 (天神・博多 乗レール買エールチケット)

- 都心部(天神・博多)への集客を目的とした、**交通(3社)・商業(福岡都心20施設)**の連携チケット。
- **鉄道(JR・西鉄)or高速バス(昭和バス・西鉄高速バス)+西鉄路線バス+3,000円分お買物券**がセット。
- 商業施設からの好評の声も受け今年で3年目の取り組み。参画商業施設も拡大。

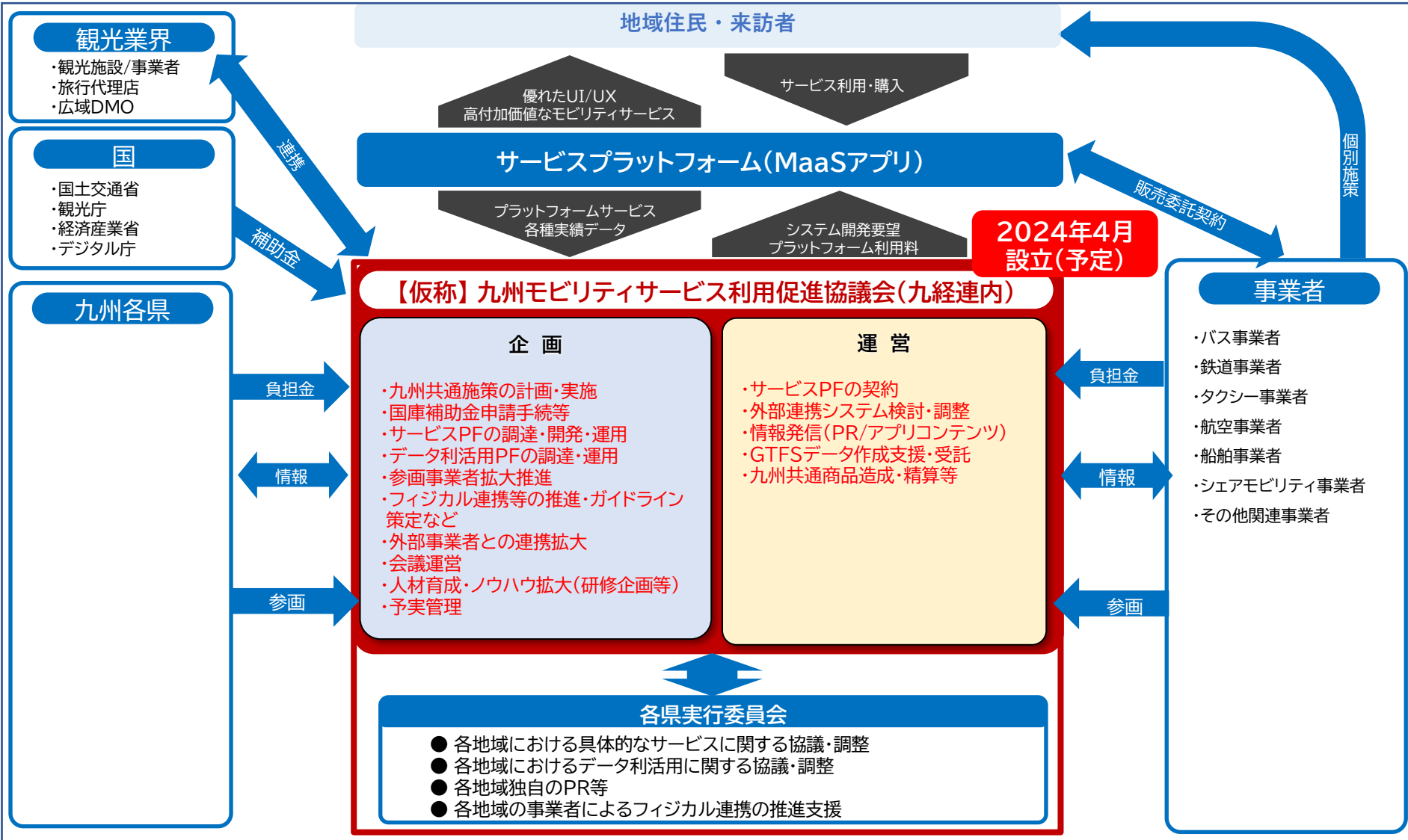


【対象商業施設】

<天神エリア> 8施設
 ソラリアプラザ、ソラリアステージ (天神TOIRO含む)、福岡パルコ、天神地下街、イオンショッピング福岡、ミーナ天神、VIORO

<博多エリア> 12施設
 JR博多シティ※ (アミュプラザ博多、アミュエスト、博多デイトス、デイトスアネックス、JR九州博多駅構内) 博多ステーションビル (博多1番街、博多駅地下街、マイング)、博多バスターミナル、キャナルシティ博多、KITTE博多、博多マルイ

協議会設立時期と組織想定/体制のあり方



※協議会と各県実行委員会の連携形態・関係性は、PF提供者との契約形態を考慮しながら整理。
 ※協議会は「一般社団法人化」する方向で今後調整。